

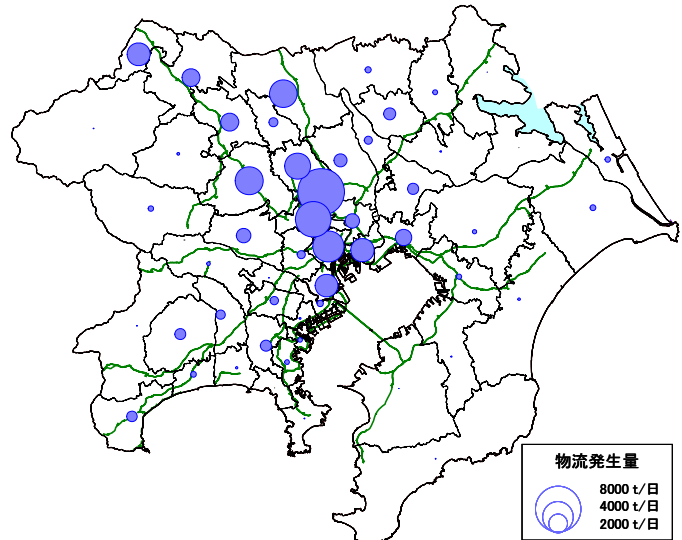
(4) 印刷関連製品

雑誌・出版物など、印刷関連の産業は、様々な情報が集中・発信されている東京を代表する産業の一つであり、東京やその周辺で製造され全国に配送されていく。そこで、特に印刷関連製品が製造されてから全国配送されるまでの流れについて示す。

◆ 印刷関連製品の流れの概要

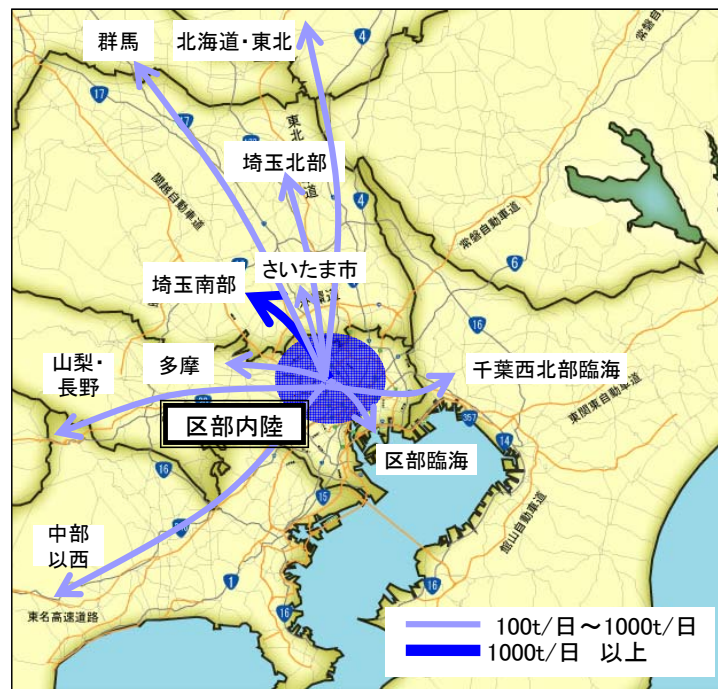
印刷関連製品の物流発生量は区部北西部から埼玉南部にかけて大きい。これらの地域には、印刷・製本等を行う工場のほか、印刷物の取り次ぎを行う流通センターが多数立地しており、国道17号や122号、254号などのほか、環状7号線、山手通りなどを経由して、この地域内で頻繁に輸送されている。

さらに、主に高速道路を経由して印刷関連製品が全国的に配送されている。



工場からの施設間流動ベースの発生量を図化
資料 東京都市圏交通計画協議会「第4回東京都市圏物資流動調査」
(平成15年度)データより東京都で集計・加工

図 印刷関連製品の地域別物流発生量



印刷・出版物の純流動OD。施設種類は全施設計。
資料 東京都市圏交通計画協議会「第4回東京都市圏物資流動調査」
(平成15年度)より作成

図 区部からの印刷関連製品の輸送先

◆ 印刷関連製品の流れにおける主な問題点

区部から埼玉南部にかけての輸送や、全国配送時の問題点が多く挙げられた。

・区部～埼玉間のボトルネック箇所

区部北西部と埼玉南部間の輸送において、主要ルートの一つである国道 122 号で総重量 20t 超の大型貨物車では自由走行できないため、製品を効率的に輸送することが難しい。

また、国道 254 号などの幹線道路の走行において、駅周辺の繁華街に近い区間などで、路上駐車などにより渋滞が起こりやすい。

・高速道路料金の負担

全国配送時には高速道路を利用するが、料金負担による経費増を避けて、一般道路を走行することケースも見受けられる。そのため、一般道路の渋滞による輸送の非効率化とともに、環境悪化の一因ともなっている。



図 印刷関連製品の流れにおける問題点